

～外国籍・外国につながる子どもたちに日本の学校文化を教えますか～

横浜市教育委員会

# 日本語支援拠点施設 プレクラス指導員募集！

平成29年度新規実施！！

## 勤務内容

平成29年8～9月（予定）に開設する「日本語支援拠点施設（※1）」におけるプレクラス（※2）で外国籍・外国につながる児童生徒に対し、学校生活の体験（学校のルール、音楽や体育の授業体験など）についての指導を行っていただきます。

実際の勤務の際には、日本語講師（※3）と一緒に働いていただきますので、外国語への対応は必須ではありません。

## 応募資格

- (1) 平成29年4月1日現在で65歳未満の方（1952年4月2日以降にお生まれの方）
- (2) 横浜市内に在住、または市内に通勤可能な方
- (3) 小学校教員免許をお持ちで、小学校での勤務経験がある方（常勤・非常勤不問）
- (4) 教育に熱意があり、児童生徒に親身に対応できる方

## 勤務条件

- (1) 勤務日・時間等 : 週3回～4回（月～金） / 1日5時間～7時間程度（週20時間以内）
- (2) 勤務場所 : 日本語支援拠点施設（横浜市中区山田町3-9）
- (3) 報酬 : 1時間2,500円（交通費含む）

## 雇用期間

平成29年5月1日もしくは6月1日から  
平成30年3月31日（更新の可能性あり）

## 募集人数

若干名

## 応募方法

平成29年2月28日（火）（必着）までに

- ①別添様式「プレクラス指導員エントリーシート」
- ②小学校教員免許状の写し
- ③外国籍の方は、パスポートの写し（名前・VISA記載面）を、

下記【日本語教室担当】あて郵送。※応募書類の返却は致しませんのでご了承ください。

## その他

①書類選考のうえ、通過した方に②面接を実施します。（平成29年3月上旬予定）  
面接日時・会場等については、書類選考通過者に別途連絡します。

- ※1 日本語指導が必要な児童生徒の支援を行うための拠点となる施設。（詳細は別添）
- ※2 外国籍・外国につながる児童生徒に対し、日本語や日本の学校生活について教える教室。
- ※3 日本語指導が必要な児童生徒に対し、日本語を教える講師。日本語に加えて、外国語に堪能で、日本語指導の資格を所有。

応募書類送付先  
及び  
問合せ先

〒231-0017 横浜市中区港町1-1  
横浜市教育委員会事務局国際教育課 日本語教室担当  
(Tel 045-671-3588、Fax 045-664-5499)

## 横浜吉田中学校第二校舎における日本語支援拠点施設について

旧富士見中学校の跡地において、横浜吉田中学校の教育環境の充実と外国籍等児童生徒の急増への対応等を踏まえ、新たに第二校舎を整備し、現在横浜吉田中学校内にあるコミュニティハウスを移転するとともに、日本語支援拠点施設を新設します。

つきましては、日本語支援拠点施設の内容について、ご説明します。

### 1 学校の現状

#### (1) 日本語指導が必要な児童生徒の急増

外国籍等児童生徒及び日本語指導が必要な児童生徒の急増に伴い、学校での対応の多様化や、日本語指導が必要な児童生徒が集中する学校での教科指導時間の確保、子どもの学力向上への対応が課題です。

#### 【参考】

##### ① 外国籍等児童生徒数及び日本語指導が必要な児童生徒数（小中学校）

	H24	H27	3年間の増加人数
外国籍等児童生徒数	6,465人	8,034人	1,590人
うち西区・中区・南区	1,633人	2,035人	402人
要日本語指導児童生徒数	1,188人	1,538人	350人
うち西区・中区・南区	347人	637人	290人

##### ② 日本語指導が必要な児童生徒が集中する学校（H27.5.1 現在）

区名	学校名	児童生徒総数	外国籍等児童生徒数	
			人数	要日本語指導
南区	南吉田小	686人	334人	157人
中区	横浜吉田中	393人	164人	81人
泉区	飯田北いちょう小	320人	166人	77人

#### (2) 日本語指導が必要な児童生徒の受入及び指導の不十分な態勢

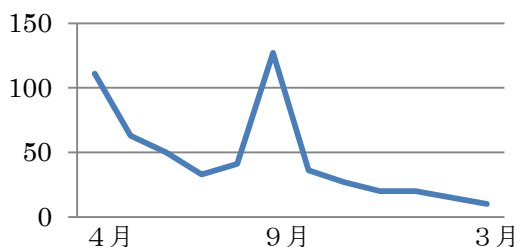
日本語指導が必要な児童生徒が様々な地域で増加していることから、これまで受入経験がない学校での受入や指導のための支援が必要です。また、年度途中での編入が多いことから、学校での受入や指導の態勢が整わない状況があります。

#### 【参考】

##### ① 外国籍等児童生徒及び日本語指導が必要な児童生徒の受入がない小中学校数

	H24	H27
外国籍等受入なし	88校	81校
日本語指導受入なし	300校	277校

##### ② 27年度 月別日本語教室入級者数



## 2 日本語支援拠点施設の機能・効果

### (1) 日本語指導・教科学習の準備

- ア 機能
  - プレクラスでの学校生活の体験
  - 集中的な日本語指導
  - 日本語レベルや母語での学習状況等の確認
- イ 効果
  - 児童生徒の学校生活への早期適応
  - できるだけ早い段階での日本語の習得
  - 学校での教科学習支援の充実

### (2) 相談対応・コーディネート

- ア 機能
  - 入学前等の学校ガイダンス
  - 保護者・児童生徒の相談支援と関係機関とのコーディネート
  - 進路・進学相談の充実
- イ 効果
  - 児童生徒・保護者が安心して過ごせる学校づくり
  - 教職員の負担軽減

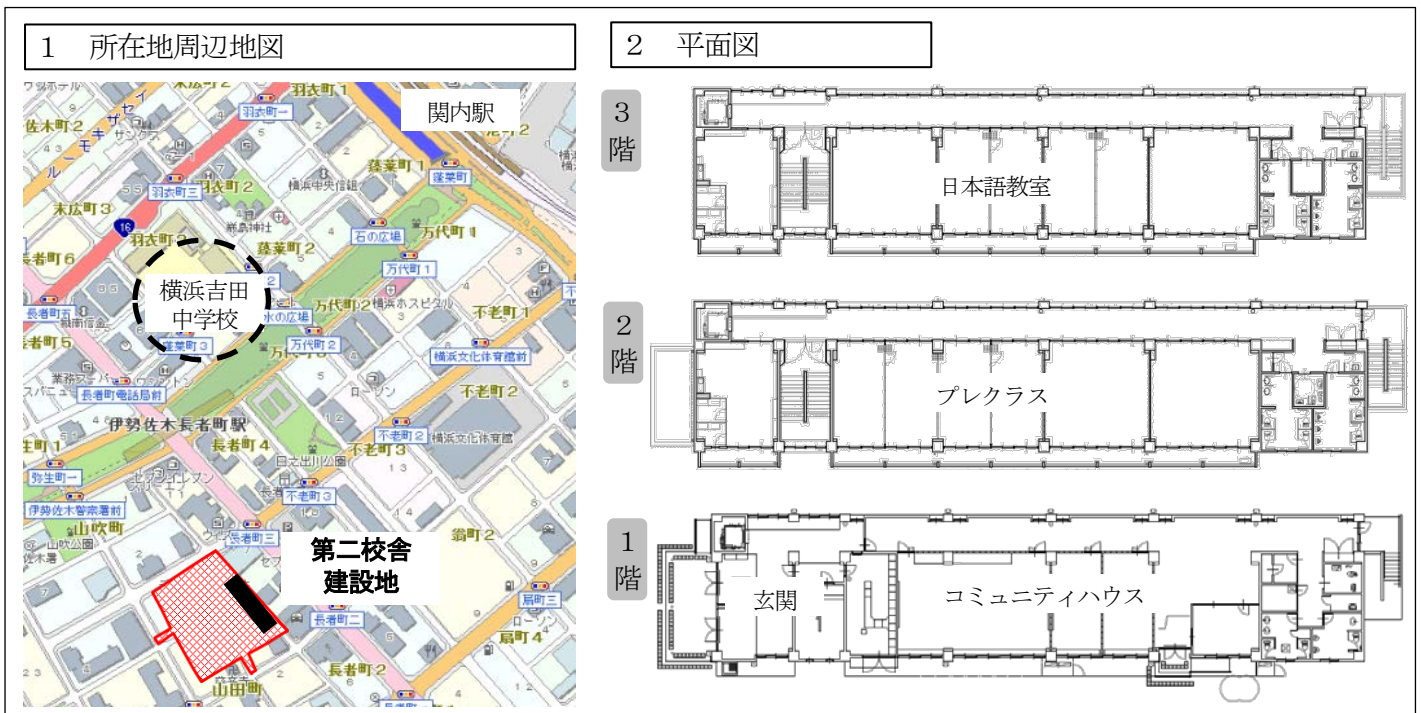
### (3) 情報収集・提供、研修・研究

- ア 機能
  - 拠点施設で蓄積したノウハウの各学校への周知
  - 日本語指導や教科学習のためのカリキュラム・教材等の研究及び教員育成
  - 区役所、YOKE 等の関係機関との連携
- イ 効果
  - 学校における児童生徒の円滑な受入
  - 担当教員の専門性の向上
  - 学校に対する様々な支援の充実

## 3 今後の主なスケジュール

- 29年3月 コミュニティハウス（現横浜吉田中学校内）の移転
- 4月 第二校舎の供用開始
- 8月～9月 日本語支援拠点施設の運用開始

### 【参考】所在地周辺地図及び平面図



平成29年度 横浜市教育委員会  
日本語支援拠点施設プレクラス指導員 エントリーシート(履歴書)

平成 年 月 日

写真を貼付  
3か月以内に  
撮影したもの  
4×3cm

ふりがな		性別
氏名		
生年月日	昭和・平成 年 月 日(満 歳)	
現住所	〒	電話
		携帯電話

<b>学歴・職歴</b> (学校に勤務した場合は学校ごとに記入)	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

教員免許の種類		
日本語指導の経験	有・無	※左欄が有の場合は内容と年数を記入(例:ボランティア 3年間)
国際教室担当教員の経験	有・無	※左欄が有の場合は合計年数・国際教室を担当した学校の名称を記入(例:4年間 ○○小学校、△△中学校)
海外での生活経験	有・無	※左欄が有の場合は国と年数を記入(例:カナダ 5年間)
外国語会話	可・不可	※左欄が可の場合は言語と資格・レベル等を記入(例:中国語 日常会話)

自由記述欄(※上記の経験等に関して特にアピールしたいことなどがあれば記入してください。)

免許・資格等 (教員免許以外)	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

志望の動機	
自己PR	

※各項目とも文字数は自由です。